NIE実践報告

1．タイトル：☆新聞とインターネットとの違いを実感した授業

2．学校名

北海道旭川商業高等学校定時制課程

3．実践者名（代表者名）

岸美千代

4．学年

第1・2・3・4学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

国語・総合的な学習の時間・生徒指導など　約100人

6．単元（本時の学習課題）名

1年・国語総合・・・表現の分野

7．目標(狙い)

新聞記事に親しみながら、一つのテーマを多角的に考える姿勢を高める。

8．評価の視点

自分たちで決めたテーマについて、新聞を読み比べ、討論することによって考えを深められたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

表現の学習（情報収集と意見文）　8時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

本時の位置づけ・・・　第8時間目：7時間かけて作成したスクラップや意見文の発表と相互評価。
学習の展開・・・・・　① 各自で作成したスクラップ帳をお互いに見て相互評価する。
② 意見文の発表をする。
③ 意見文に対する質問や同意見、反論等をお互いに述べ合う。
指導上の留意点・・・　お互いの考えの違いを理解しながら、物事を多角的にとらえて考えられるように指導する。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

・テーマを決めるのが難しかったが、お互いの興味の違いを知ることができて面白かった。
・新聞の記事の内容を理解するのは難しい面もあったが、ふだん気づかないことも知ることができて良かった。新聞を読み比べたり、スクラップを作成するためには、時間が足りないと感じた。

12．成果と課題

携帯電話やパソコンを使用して情報収集をする生徒にとって、新聞を読み比べるのは「手間のかかること」であり、「すぐに答えが出ないもの」ではあるが、インターネットやテレビ等との違いや新聞の特性を知ることによって、ものごとを多角的に考えたり、一つのテーマについて持続的に考えていく大切さを実感できたと捉えている。しかし、生徒は、新聞よりもインターネットによる情報収集の方が早くて便利であり、動画を見たり、意見交換をしたりすることも気軽にできると考えている。公的な立場で考え、発表する意義を深める必要がある。